

映える！

ご家庭の窓辺で出来る！！

水耕による

簡単！

パセリ栽培記録

2020.10.26~2021.1.21 (順次更新予定)

土で汚れない！



使ったもの紹介

すべてホームセンターで購入可能です。

使ったもの紹介①

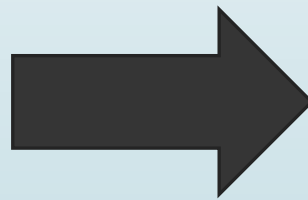


- パセリ種子
- ロックウールキューブ
- バーミキュライト（覆土用）
- 適当な容器
- セルボックストレイ
- 不織布

根を観察できるように、
透明なものにしたが
その場合遮光するもの
が別に必要となる。

使ったもの紹介②

- ▶ 水耕用液肥（今回はハイポネックスを使用）
（1000倍に希釈した後にバケツで保管）



使ったもの紹介③

- ▶ 水差し



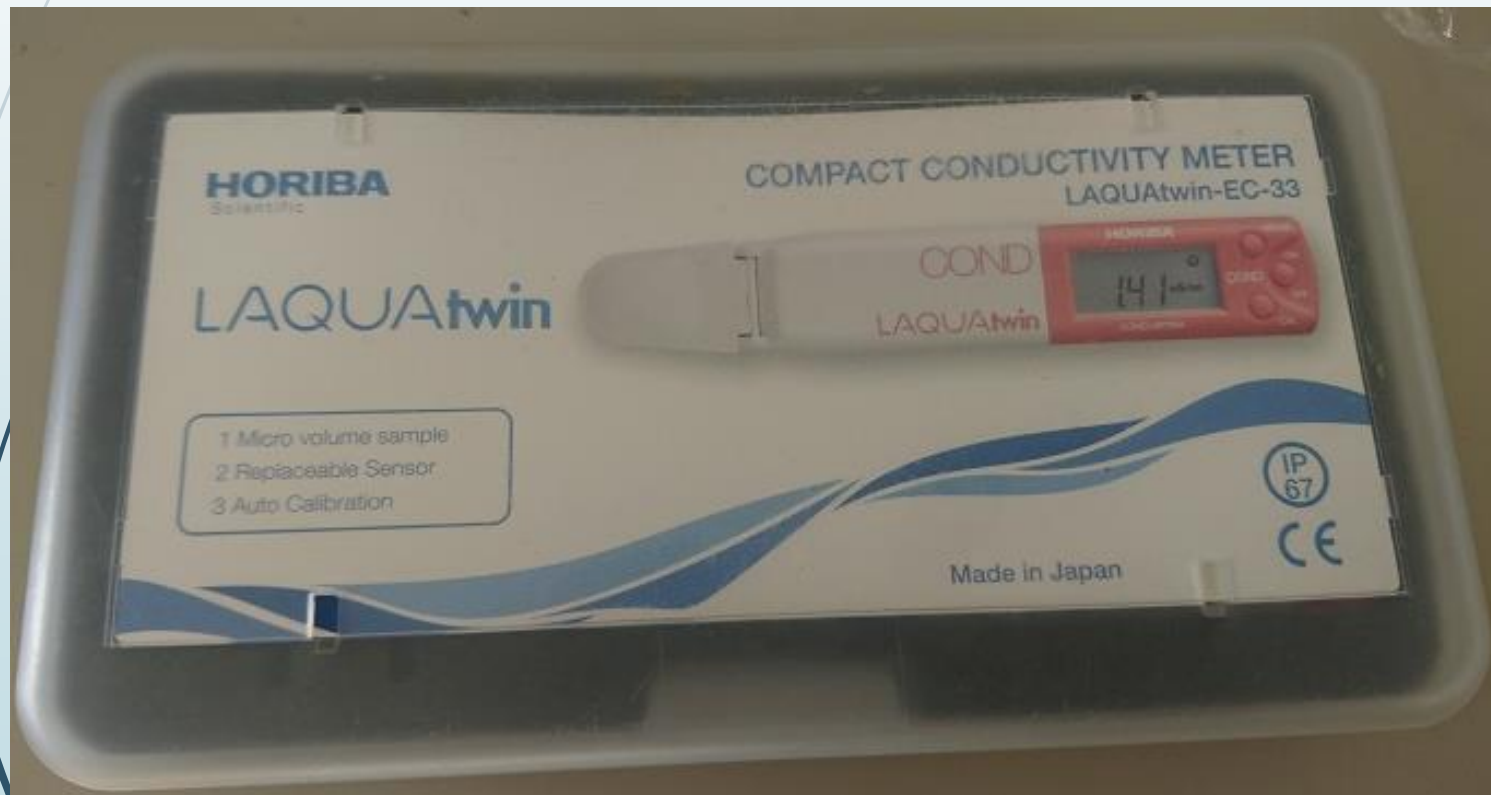
使ったもの紹介④

- ▶ LEDクリップライト (1600lx、400lm)
- ▶ コンセントタイマー (あると便利)



使ったもの紹介⑤

- ▶ コンパクト電気伝導率計（無くても大丈夫）





栽培方法

栽培方法①

▶ 播種（種まき）

パセリの種子はとても小さいので、無くさないように注意しながらロックウールキューブの穴に各3粒ずつ植えていきます。（全ての種子が発育良好になるとは限らないからです。）





3粒ずつ播き終わったあと。
播きそびれが無いように、気を付けながらやりましょう！

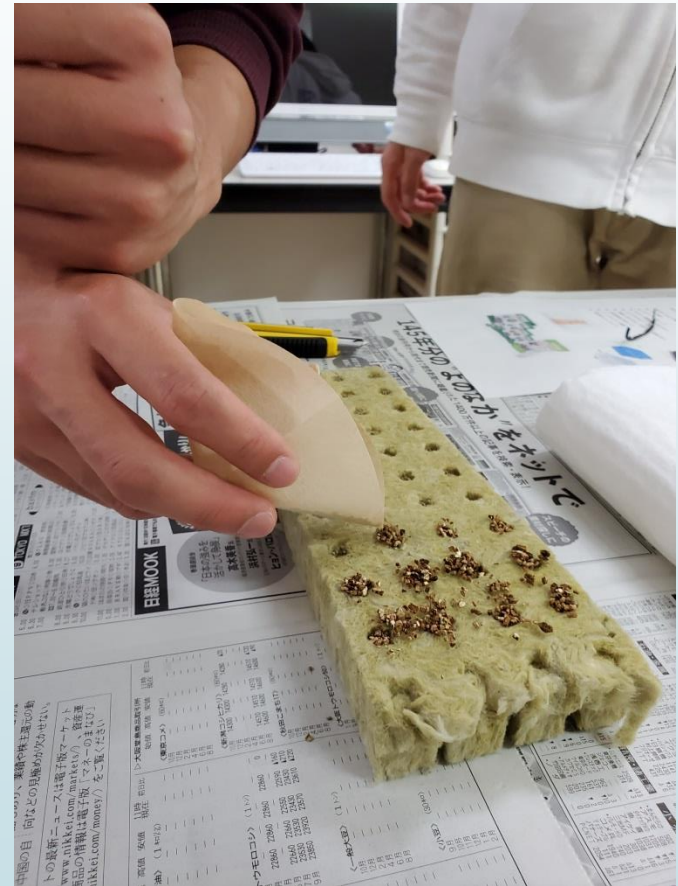
栽培方法②

トントン♪

▶ 覆土

光が入らないよう、各穴の種子に上から土（バーミキュライト）を被せます。

このとき、土を使い捨てコーヒーフィルターに入れて振りかけると楽でした！



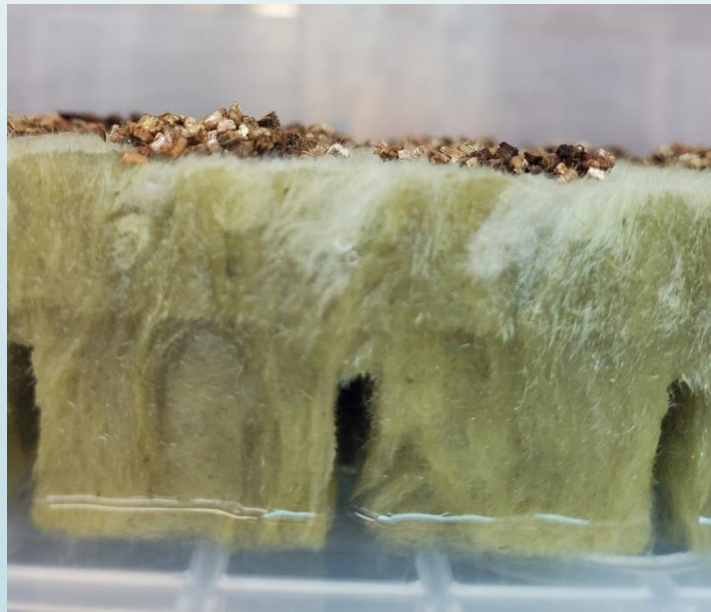


播き終わるとこんな感じです。
こぼさないように気を付けながら、容器の中に移動します。
よく日のあたる場所で栽培していきましょう。

栽培方法③

▶ 灌水（水やり）【発芽前】

発芽するまでの間は水道水で大丈夫です。毎朝 1 回の間隔で、底面が水で覆われる程度に与えましょう。前日が曇っていて、水が減っていなければ余分に与える必要はありません。



栽培方法④

▶ 移植【準備編】

発芽してきたら灌水をハイポネックス希釈液に切り替えるとともに、根が伸長でき、窒息せず呼吸できるようにする必要があります。そこで今回は、トレイ2つと不織布でこのような簡易栽培ベッドを作りました。



イメージ図

(実際には端から端まで覆う)



下部側面図

(凹みの奥まで押し込む)

栽培方法⑤

▶ 移植【実行編】

予め作っておいた簡易栽培ベッドを容器の中に入れ、ロックウールキューブを1穴ずつにちぎり、移植していきます。移植する苗はしっかりと生長したものを厳選しましょう。



栽培方法⑥

▶ 灌水（水やり）【発芽後】 1

移植したのちは、培養液が根に直接接触れないようにするため、不織布伝いに給液がされるようにします。



← 当時の水位

栽培方法⑦

▶ 灌水（水やり）【発芽後】 2

コンテナとトレイの間から水差しで給液すると
楽にできます。



栽培方法⑧

▶ 間引き【セル内】

3粒すべて発芽して、そのままにしておくと根や葉が窮屈になってしまうので、1セル1株になるように株数を減らします。

タイミングは子葉が展開したときと本葉が2枚出たときの2回に分けて行います。



間引く株のポイント

- 葉の色が薄い
- 茎が細い
- 株が小さい
- 生長が遅れている株

栽培方法⑨

▶ 間引き【トレイ内】

1セル1株のままだと葉が大きくなったときに、重なりすぎてしまうので、トレイ内でも間引きをします。

今回の場合、1トレイ18セルなので、半分の9株を目安にして、葉の重なりが激しい箇所を減らしていきます。

間引くときのポイント
葉が重なっているので、
ハサミで根元から切ると
うまくできます！



栽培方法⑩

▶ 補光（無くても大丈夫）

室内だと、曇天や雨天の日は光不足になってしまうので、LEDライトを点灯し、光を補います。今回は1600lx、400lmのライトを使用しました。

さらにコンセントタイマーを使って、6時～19時の間、点灯するように設定しました。

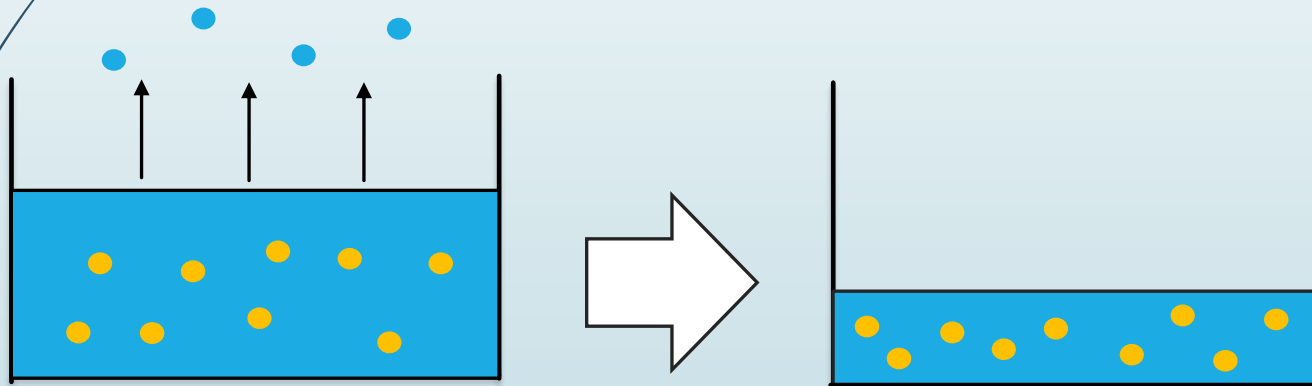
（お家での栽培でしたら、朝ONにし、夜OFFにすれば、大丈夫です。）



栽培方法⑪

▶ 培養液濃度の調整 1

冬は空気が乾燥しているなので、水分が蒸発しやすくなります。溶けている肥料は蒸発しないので、水分だけが減り、培養液の濃度が高くなってしまいます。



空気の乾燥によって
水分だけが蒸発

肥料やけを
起こしてしまう

栽培方法⑫

▶ 培養液濃度の調整 2

そこで、電気伝導率計を使って、どれだけ肥料成分が溶けているかを計測し、数値が高い（ $1300\mu\text{S}/\text{cm}$ 以上）場合は、水道水を加えて、薄めます。

お家では、水道水とハイポネックス希釈液を交互に与えたり、液肥の希釈率を上げたり、培養液を全部取り替えたりすることで肥料やけを防ぐことができます。



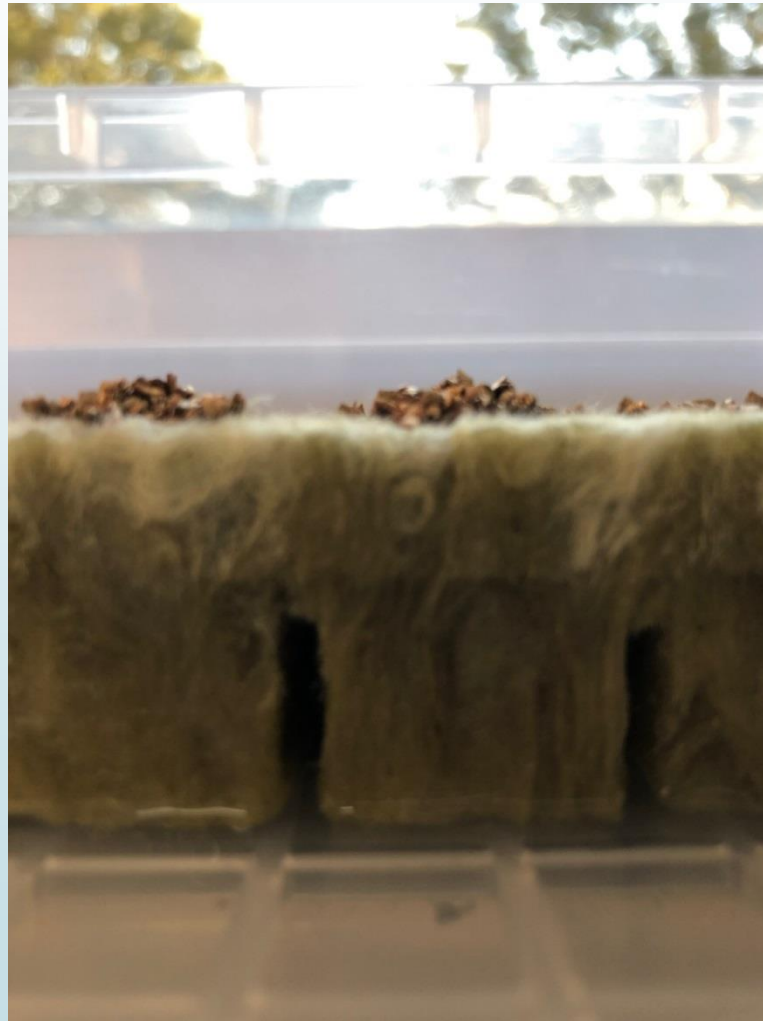
今回の栽培から、ハイポネックスを用いたパセリの水耕栽培には2000倍の希釈液を用いることをオススメします！



栽培記録

日々の記録から抜粋しました。

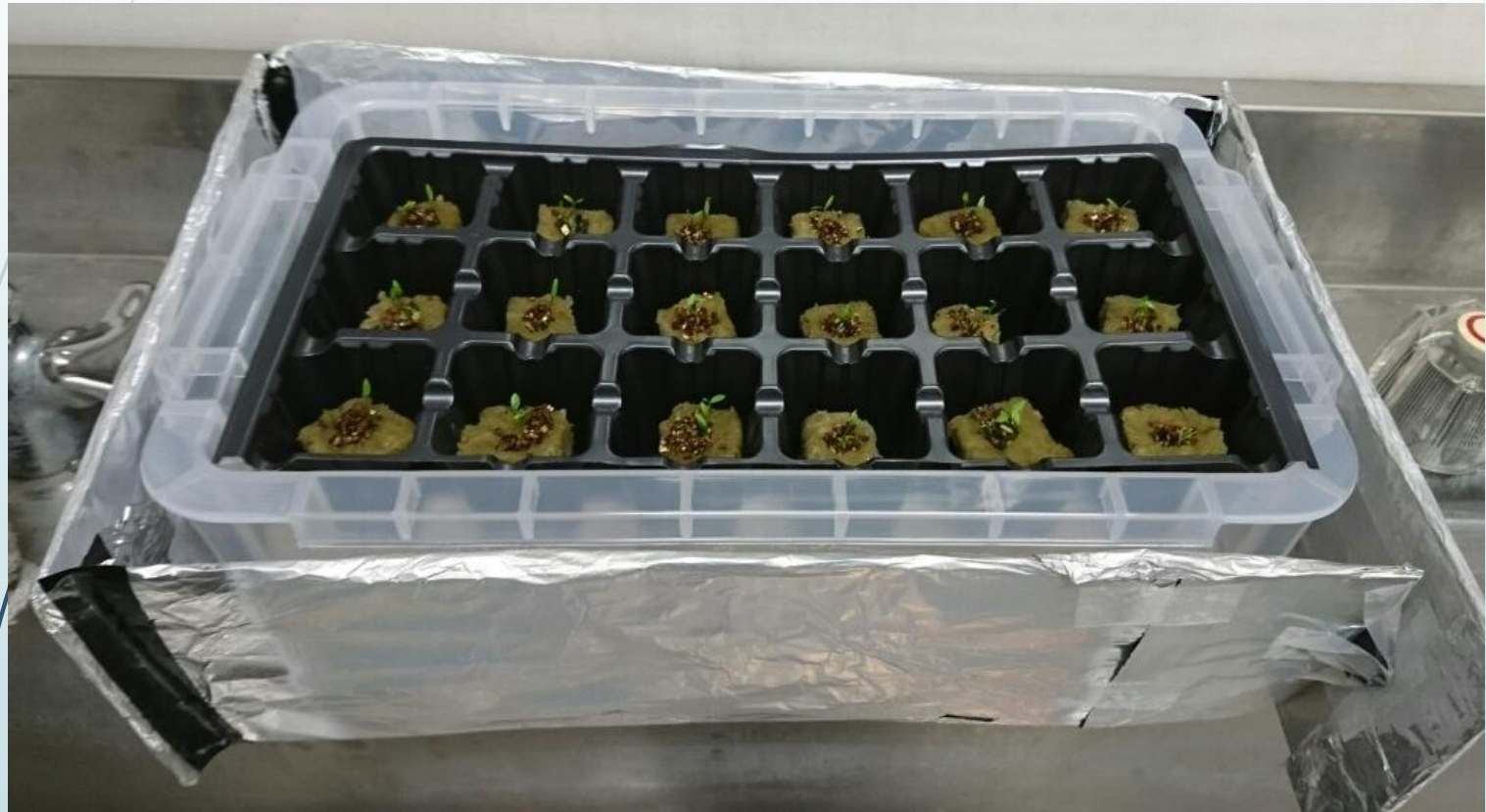
栽培記録 2020.10.26 播種

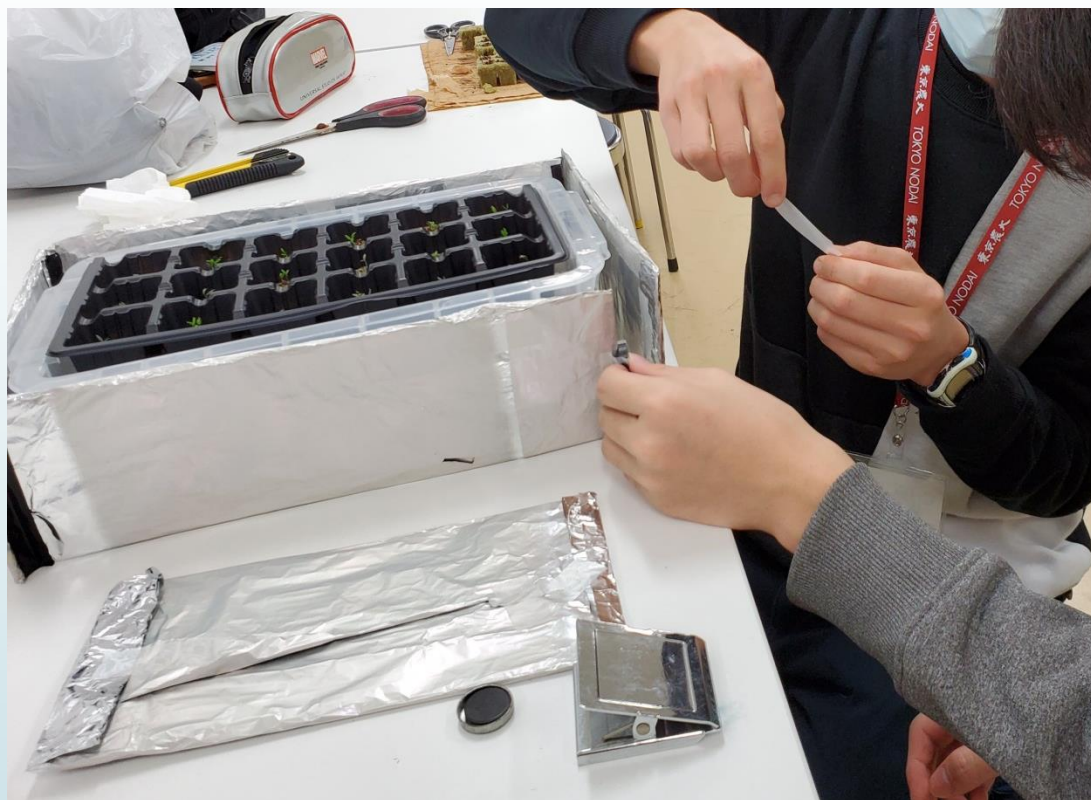


栽培記録 2020.11.5 発芽



栽培記録 2020.11.7 移植





遮光用の囲いは、研究室に落ちていた段ボールを使って手作りしました。毎日の撮影のために、脱着がしやすいマグネットも装着しました。

栽培記録 2020.11.15



子葉が展開したところで、
1セル2株に間引きを行いました。

栽培記録 2020.11.17



第1葉を観察できました。

栽培記録 2020.11.20



光の強い窓側に株が傾いてきたので、
コンテナの向きを逆にしました。
今後は傾いていたら、その都度逆にします。

栽培記録 2020.11.24



第2葉が見えてきました。

栽培記録 2020.11.26



栽培記録 2020.11.30



栽培記録 2020.12.1



根が伸長してきていたので、
以後は給液水位をこの下まで下げました。

栽培記録 2020.12.2



栽培記録 2020.12.7



データ提出め切の当日写真

12.4に再び間引きを行い、1セル1株の状態になりました。
赤で囲った箇所は生育が著しく悪かったので、取り除きました。

栽培記録 2020.12.9



栽培記録 2020.12.10



第3葉が生長中です。

栽培記録 2020.12.14



栽培記録 2020.12.15



第4葉が見えてきました。

栽培記録 2020.12.16



6時から19時に設定して補光を始めました。

栽培記録 2020.12.18



栽培記録 2020.12.21



空気が乾燥して、水分が蒸発し、培養液濃度が高くなってきたので、水と液肥を交互に与えることにしました。

栽培記録 2020.12.22



栽培記録 2020.12.24



1株だけですが、少し縮れてきた葉を確認できました。
さらに交互に与える煩雑さを避けるため、
今まで液肥は1000倍だったのを2000倍に変更しました。

栽培記録 2020.12.25



第5葉が見えてきました。

栽培記録 2020.12.28



栽培記録 2021.1.1



株も大きくなってきたので、培養液の減りが早くなってきました。

栽培記録 2021.1.4



栽培記録 2021.1.8



だいふ葉が縮れてきました。
また葉が重なり合ってきたため、トレイ内での間引きを行いました。

栽培記録 2021.1.13

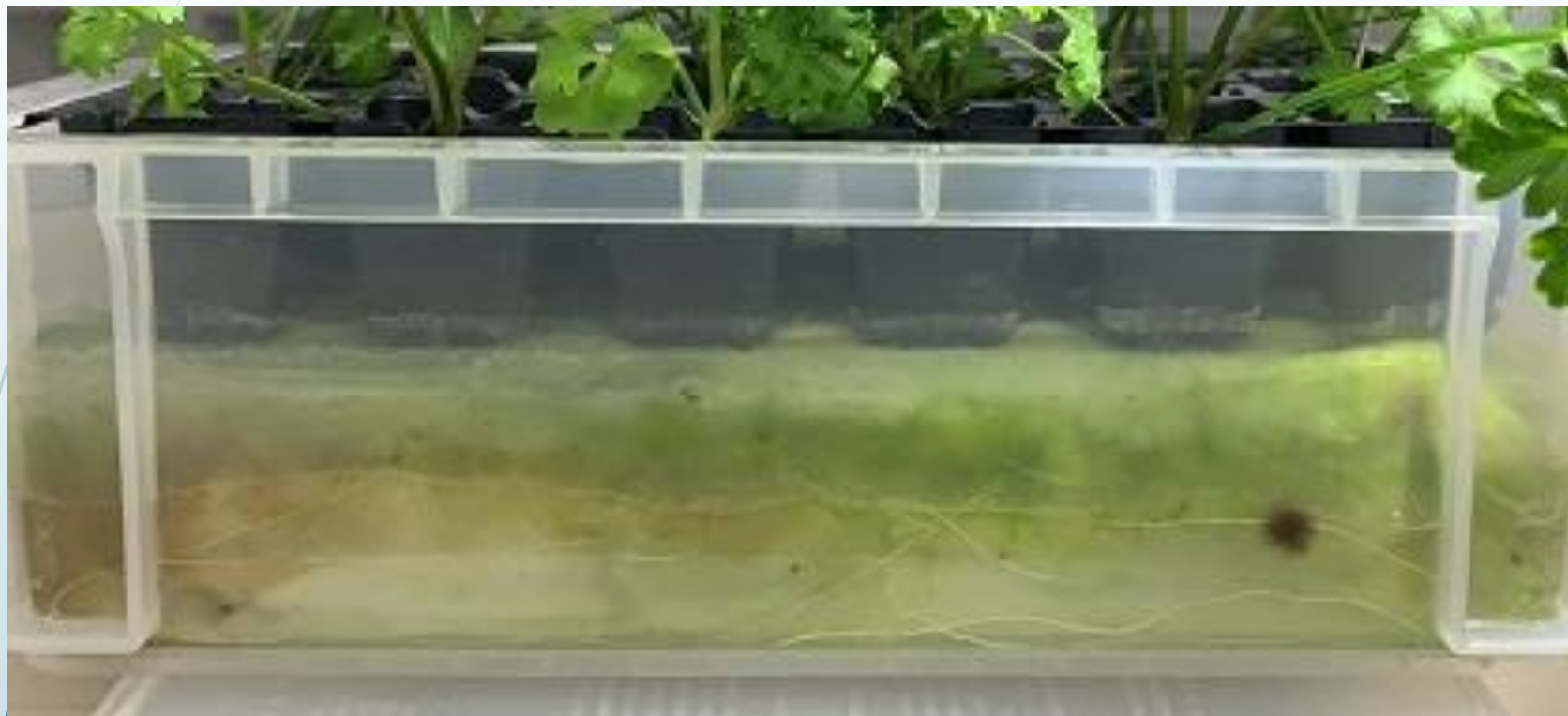


根の生長も著しくなり、コンテナの底を広がるようになりました。
植物による吸液と蒸発を考慮して、やや高めの水位になっています。

栽培記録 2021.1.15



栽培記録 2021.1.16



横面にも根がしっかり伸びています。

栽培記録 2021.1.19



第8葉が見えてきました。

栽培記録 2021.1.21





今回はここまで

次回更新をお楽しみに。

皆さんもぜひ栽培に挑戦してみてください！